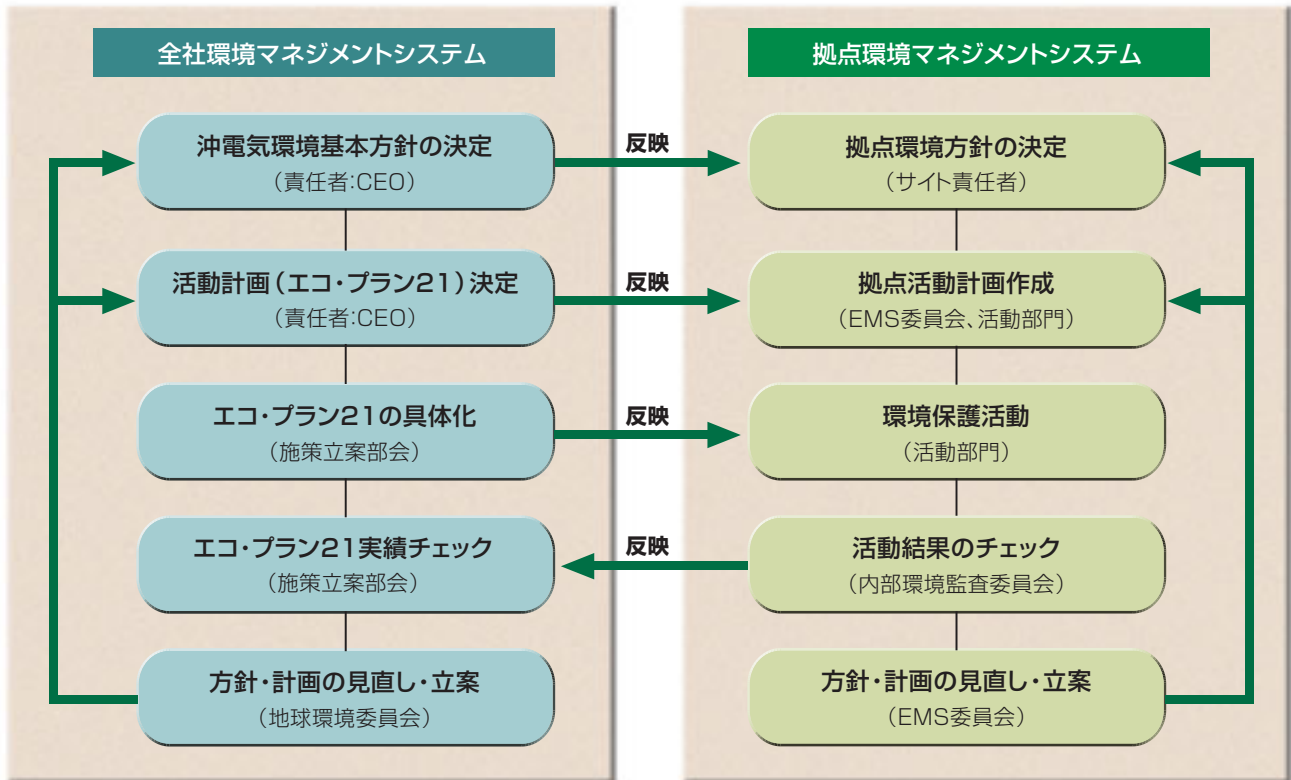


環境マネジメントシステム

環境マネジメントシステム全体像

環境保護活動を推進するため、沖グループ全体にわたる環境マネジメントシステムを構築しています。全社方針・計画を拠点(沖電気事業所+グループ企業)の方針・計画

に反映し、また、拠点の活動結果を全社方針・計画に反映するシステムです。



沖グループの国内全生産拠点が、ISO 14001を認証取得

生産活動や製品にかかわる環境負荷を低減するためには、ISO 14001に沿った活動が有効です。このため、沖電気ではISO 14001に準拠した環境マネジメントシステムを、グループ会社を含む拠点へ導入しています。

2001年度は、国内の5生産拠点、海外1生産拠点がISO 14001を認証取得し、沖グループの国内全生産拠点が、ISO 14001を認証取得しました。今後は、非生産拠点のISO 14001認証取得拡大を図ります。

ISO 14001 認証取得拠点

～2000年度			2001年度
●八王子地域	●高崎地区	●富岡地区	●(株)沖電気コミュニケーションシステムズ ●沖パワーテック(株) ●沖マイクロ技研(株) ●(株)沖エアフォルク ●(株)沖センサデバイス ●常州沖電気国光通信機器有限公司
●本庄地区	●沼津地区	●芝浦・幕張地区	
●宮崎沖電気(株)	●長野沖電気(株)	●宮城沖電気(株)	
●(株)沖データ	●静岡沖電気(株)	●多摩沖電気(株)	
●沖プリントドサーキット(株)	●(株)沖環境テクノロジー		
●Oki Semiconductor Manufacturing Group			
●Oki (UK) Ltd.			
●Oki (Thailand) Co., Ltd			

環境マネジメントシステム

環境教育

■ 一般教育

沖電気の環境教育は、沖電気およびグループ会社を対象に行う全社教育と、各拠点が独自に行う拠点教育があります。

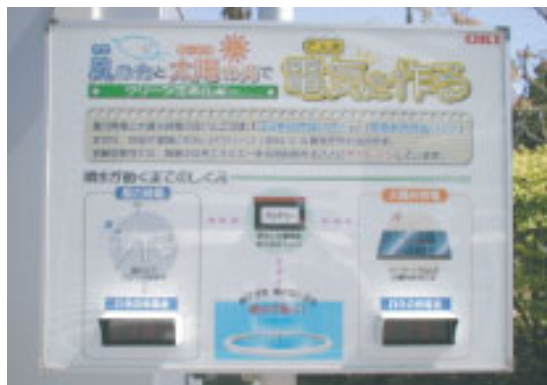
拠点教育

(八王子地区の外部教師による環境法セミナー)



拠点教育

(風力発電と太陽光発電の仕組み説明用パネル)



地元の国立高専が開発したモンゴル型風力発電機と太陽光発電を、噴水用ポンプの電源として使用。(宮崎沖)

■ 内部環境監査員の養成教育

環境マネジメントシステムを評価し、その信頼性を確保するためには、定期的な監査が必要です。このため、沖電気では内部環境監査員養成教育を、社内で開催しています。2001年度は126名の教育を修了しました。この結果、内部環境監査員養成教育修了者の延べ人数は、415名に達しました。

環境監査

沖電気の環境監査には、下記に示す本社安全監査とISO14001認証取得拠点対象の内部環境監査があります。監査内容の相違は、下表の通りです。

内部環境監査は、対象拠点の監査員を中心に他拠点の監査員を交え、1回/年以上実施しています。

環境監査名称	監査内容
本社安全監査	<ul style="list-style-type: none">●安全管理に関する方針と具体的施策●管理体制と活動内容●危険発生因子における日常管理状況
内部環境監査 (ISO14001対応)	<ul style="list-style-type: none">●環境マネジメントシステムのISO14001要求事項への適合性●法規制の遵守状況●自主的に設定した目的、目標の達成状況

■ 2001年度本社安全監査実施結果

大規模な環境汚染は、地震や火災などが原因となり発生しています。これを予防するため、沖電気では自然災害、労働災害などによるリスクに対する管理状況の監査(本社安全監査)を実施しています。

監査対象拠点

沖電気及びグループ会社の国内/海外の生産拠点(研究開発本部をはじめとする技術・開発部門を含む)で、国内21拠点、海外6拠点の計27拠点について監査を行いました。

監査結果

計98件の指摘を行いました。

安全監査指摘例

- 地震時の転倒、落下の危険防止対策に関するもの
- 防災訓練の実施状況に関するもの
- 保護具(マスク・手袋等)の管理に関するもの

フォローアップ

- 結果をマネジメント会議に報告しました。
- 指摘事項の早期対策実施を確認しました。
- 指摘事項を、全生産拠点にフィードバックし、重大な指摘事項に関しては再監査しました。
- 結果を次年度の監査に反映していきます。